

会 議 録	
会議の名称	令和6年度第1回清須市地域公共交通会議
開催日時	令和6年6月12日（水） 午前10時から午前11時52分まで
開催場所	清須市役所北館2階 第1・第2会議室
議題	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>(1) 令和5年度コミュニティバスの利用状況の推移について</p> <p>(2) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について</p> <p>(3) 令和6年度清須市地域公共交通会議スケジュールについて</p> <p>〔協議事項〕</p> <p>(1) 令和5年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について</p> <p>(2) 第2次清須市地域公共交通計画の策定について</p> <p>(3) 地域公共交通計画に係る取組状況の評価（案）について</p> <p>(4) 令和7年度地域公共交通計画別紙（案）について</p> <p>(5) コミュニティバスのバス停の名称変更（案）について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
会議資料	<p>会議次第、委員名簿、配席表</p> <p>〔会議資料〕</p> <p>資料1 令和5年度コミュニティバスの利用状況の推移</p> <p>資料2 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果</p> <p>資料3 令和6年度清須市地域公共交通会議スケジュール</p> <p>資料4 令和5年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算</p> <p>資料5 第2次清須市地域公共交通計画の策定について</p> <p>資料6-1 清須市地域公共交通計画に係る取組状況の評価（案）</p> <p>資料6-2 清須市地域公共交通計画の評価等結果（案）</p> <p>資料7-1 地域公共交通確保維持改善事業の概要</p>

	資料7-2 令和7年度清須市地域公共交通計画別紙(案) 参考資料 清須市地域公共交通計画・抜粋 資料8 コミュニティバスのバス停名称の変更(案)
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数	5人
出席委員	前田委員、佐藤委員、柴田委員、加藤(榮)委員、鬼頭委員、加藤(博)委員、宮川委員(代理)、石屋委員(代理)、加藤(純)委員、荻田委員、多田委員、小林委員、大島委員、福田委員(代理)、河口委員、鈴木委員、豊田委員、高井委員(代理)、林(尚)委員
欠席委員	山田委員、林(巖)委員
出席者(市)	なし
事務局	(企画政策課) 林次長兼課長、神野課長補佐兼係長、蜂矢主任、市江主任 (株式会社日本海コンサルタント) 塩土本部長、備後サブリーダー、小村氏
会議録署名委員	加藤(榮)委員、鬼頭委員
<p><b>1 開会</b></p> <p>(神野課長補佐兼係長) ただ今から、令和6年度第1回清須市地域公共交通会議を開会します。</p> <p>私は、本日進行を務めさせていただきます、企画政策課の神野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、前田会長からごあいさつをいただきたいと存じます。</p> <p>前田会長、よろしく申し上げます。</p> <p>(前田会長) 皆様、おはようございます。</p> <p>本日は、令和6年度第1回清須市地域公共交通会議へご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>また、日頃、皆様には本会議の運営等に多大なご理解とご協力をいただいております。</p> <p>あらためまして、お礼を申し上げます。</p> <p>さて、本日の会議では「第2次清須市地域公共交通計画の策定について」が主な議題となり、今年度策定する次期地域公共交通計画に向けての検討が本格的に始まります。</p> <p>今年度からご参画いただく委員の方もおられますが、是非より良い地域公共交通を目指し、有意義な議論ができるよう皆様どうぞよろしくお願いいたします。</p>	

簡単ではございますが、これで私のあいさつに代えさせていただきます。

(神野課長補佐兼係長)

ありがとうございました。それでは、本日の会議の出席状況について、ご報告します。

はじめに、人事異動等により本会議から新たにご参画いただきます委員の方をご紹介します。

第4号委員で愛知県尾張建設事務所維持管理課長の加藤純丈委員です。

また、今年度、次期地域公共交通計画を策定する関係で、鉄道との連携も視野に検討を進めていけるよう、市内鉄道事業者の皆様にもご参画していただきますので、ご紹介いたします。

まず一人目は、第7号委員で東海旅客鉄道株式会社東海鉄道事業本部管理部企画課担当課長の豊田智隆委員です。

二人目は、同じく第7号委員で名古屋鉄道株式会社地域連携部交通サービス担当課長の高井勇輔委員です。なお、高井委員は所用のため、夫馬様に代理でご出席いただいております。

三人目は、同じく第7号委員で東海交通事業株式会社鉄道部輸送課長の林尚生委員です。

続きまして、本日の欠席委員のご連絡です。

本日の欠席委員は、第1号委員の山田委員と林委員です。

また、他の公務のため、第3号委員で国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官の宮川委員におかれましては渥美様に、第4号委員で愛知県都市・交通局交通対策課長の石屋委員におかれましては藤原様に、第5号委員でつばめユニオン委員長の新田委員におかれましては毛利様に代理でご出席いただいております。

加えて、事務局といたしまして、地域公共交通計画策定支援業務の受託事業者である、株式会社日本海コンサルタントの塩土様、備後様、小村様にもご同席いただいております。

みなさま、どうぞよろしくお願いたします。

それでは、これより議事に入りますが、ここで、事務局からお願いがございます。

当会議の議事録を作成するため、会議でのご発言にあたっては、次の二点についてご協力をお願いいたします。

まず一点目ですが、ご発言にあたっては、必ず挙手の上、会長の指名を受けてください。

二点目ですが、会長の指名を受けた委員様には、その都度、ご自身のお名前を仰っていただいておりますよう、お願いいたします。

なお、本日机上に配布させていただきました「活発で良い議論ができる会議のために」という冊子について、愛知運輸支局より簡単なお説明があります。よろしくお願いたします。

(宮川委員 (代理))

愛知運輸支局の渥美と申します。

私の方からですね、机上にお配りしている活発で良い議論ができる会議のためにというものをご紹介します。毎年第1回目の会議のときに、初めてこの会議に参加される方もお見えになりますので、簡単にご紹介させていただくというところでございます。

まずその冊子でございますが、少し前にあるんですけど有識者の方のご助言等もいただきながら事務局の方で作成したものでございます。

冊子を開いていただきまして、2ページの右上になるんですけど、この会議は、ここに記載の通り住民、交通事業者、行政など関係者の皆さんで話し合っただけで決める空間というものでございます。

この地域にふさわしい公共交通を作り上げて、5年後10年後に地域公共交通が維持できるよう、様々な課題を話し合っただけで決める場でございます。

それから3ページでございます。

より実りある議論になるよう、この会議の参加者の方の役割が書かれているものでございます。

なかなかその住民対象の方は、ここで発言するのは躊躇されるのかなということもあるんですけど、日頃気づいたことだとか、こうしたらよくなるんじゃないかみたいなことを、お話いただければなあと思います。

それから6ページですが、公共交通は、コミバスだけでなく、鉄道、バス、タクシー、それぞれ役割を持って運行されているということでございます。

それから、議事にもあるんですけど、今年度公共交通計画を策定されるということでございますが、昨年、いわゆる地域交通法が改正されて、今まで以上に、地域の関係者が連携・協働、いわゆる共創というところで、利便性だとか持続性だとか生産性が向上するように、交通ネットワークの再構築、リデザインと言いますが、そういうものをしていきたいと思いますというものでございます。

そういう点も踏まえながらですね、ご議論していただければなあと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

(神野課長補佐兼係長)

ありがとうございました。

それでは、ここからの進行は前田会長にお願いいたします。

## 2 議事〔報告事項〕(1) 令和5年度コミュニティバスの利用状況の推移について (2) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について (3) 令和6年度清須市地域公共交通会議スケジュールについて

(前田会長)

それでは、ここからは私の方で会議の取り回しをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まずはじめに、会議録の署名委員を指名したいと思います。

本日の会議の会議録署名委員は、座席の順に加藤榮子委員と鬼頭委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、本日の議事に入ります。

本日の議事につきましては、お手元の次第のとおり、報告事項が3件、協議事項が5件です。

まずは次第の順に「報告事項」についての議事を進めます。

次第にある報告事項は一括して扱うこととしますので、まずは該当資料について事務局から説明してください。

(蜂矢主任)

【資料1・2・3を説明】

(前田会長)

ありがとうございました。

それでは、この報告について、ご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いいたします。

(加藤副会長)

名古屋大学の加藤です。この会議は2006年3月にできて18年経ったということですが、日本で一番古い地域公共会議になります。

日本で一番初めにできた地域公共交通会議です、実は。

ただ、当時は法定じゃなかったと。法律ができたのは、2006年の10月なので、その時点で可決成立はしました。

ということでそこから委員ですので、そろそろ先が見えてきたなと思ってますけど引き続き、よろしくお願ひします。

ちょっと資料1について聞きたいんですけど、コロナ前より上回ったってのはありがたいことなんですけど、中身が、以前乗っておられた方と同じような方が戻ってきているのか、それとも何か新しい傾向があるのかっていうのが何かわかったら教えて欲しいなということです。通常だと、結構最近はお年寄りだけじゃなくて若い方とか、女性の方とかそういう方が多い傾向が見受けられます。お年寄りだと上の方の方はコロナで出かけられなくなってしまったという方が多いです。もうちょっと下の世代になると車に乗ったり乗せてもらえる方が多いので、車に乗る乗せてもらう方が大体楽なので、そっちへ行っちゃって戻らないことが多いです。

だけど若い方は今車に乗らない方が結構多くなっているっていうことが見られるんですけど、清須の場合はどういう感じなのかなってのはちょっと雰囲気では教えて欲しいなと思います。

(市江主任)

事務局の市江です。

利用状況の左側の一番下の運転免許証の利用者数を見ていただくとわかりますように、交付枚数は置いて、延べ利用者数としては毎年どんどん上がっている状況になります。担当としましても、あしがるバスというのは、高齢者の方を中心に、今もご利用いただいている状況でし

て、若い方は、まだまだ少ないのかなと感じております。

(加藤副会長)

ただ、免許返納なんで、今まで車に乗っておられた方が返納してるってことなんで、明らかに車からの転換になるという、そういうふうに考えたらいいということでもいいですか。

(市江主任)

はい。そのとおりです。

(加藤副会長)

あと、関連してなんですけど、昔からヨシヅヤの利用が多くて、1つ間違えるとヨシヅヤ送迎バスじゃないかというぐらい多かったんですけど、この割合ってどうなんですかね。

全体に占めるうちで行かれる方の割合っていうのは、同じような感じなのか。上がってるのか下がってるのか。

ヨシヅヤに行く人が増えるのはいいんですけど、余りにもヨシヅヤばかりだと、もうちょっといろんなところへという話になり、つまりこれ、ここで各ルートどれもヨシヅヤが一番になってるわけですよ。ですけど一番と二番の差っていうのは、ここだとわからないので、ここに何%と書いてあると一番いいんですけど、どうですかね。

(市江主任)

ルートによっても、多少も差はあるんですけども、大体5人に1人程度なので、20%ぐらいの方がヨシヅヤに向かわれる状況です。

(加藤副会長)

以前だと4割ぐらいだったと思いますので、ちょっと下がってるということになります。そうすると、いい傾向だと思います。わかりました。ありがとうございます。

あと、資料3のスケジュールは、一応報告事項なってるものですけど、計画策定と関係の深いところだし、あと2の第三者評価の中で、ワークショップなど直接意見を聞く機会とありますが、その結果としてこれ意見交換会とか入ってるのですか。これだけですか。

(市江主任)

意見交換会と昨年度実施したアンケート調査を踏まえて、検討していければと考えております。

(加藤副会長)

このスケジュールそのものについて検討する必要はないのかっていうのはいいですかね。

これが報告事項になって、計画策定について検討するっていったら、何かいろいろ出てきたらここに追加されることもありうると思うわけですが、先にこれ提示されると、大体スケジュールって一番最後かなと

思っていて、こういうことが問題点としてできたからこういう調査しなきゃいけないとかっていうのも追加されたりするんで、スケジュールはこうしていこうとなるかなと思いました。ちょっと先に出てくると、窮屈かなと思ったんで、もしこの後議論するときにそういう、こういうことも調査しなきゃいけないということがわかったら、変更するということもありえるんですか。

(市江主任)

もちろん、今後の協議の中で、そういった必要なものがあれば、検討していきたいと思っております。

今回この報告事項で挙げさせていただいた理由としましては、前回の会議のところで協議は終わっているという段階で、今回からご参画いただく委員もおられますので確認のために報告事項とさせていただきました。

(加藤副会長)

あと、今回鉄道事業者さん入られたんで、本当は今日でもよかったかもしれないんですけど、鉄道の状況についてお話いただく機会があった方がいいなと思えるんですけど、それは次回とかにお願いしていただいた方がいいと思うんですけど、どうですか。

課題とか、こういうことが地域の皆さんと一緒にできたらいいとか或いはやって欲しいのか逆にやりたいとか、そういうことを紹介させていただいて、計画策定に入ることがあったら入れるっていうのは、もちろんヒアリングして聞けばいいんですけど、委員ですので直接見せていただく機会があった方がいいかなと思うんです。

鉄道は今まで全く18年やってきたけどそういうことはなかったんで、初めてそういう機会を作ることは、必要かなと思っております。

次回で構わないんですが、特にやっぱり清須市内の状況というのは、教えていただけるといいかなと思います。利用者数とかでも1回もここで出たことはないと思います。

なんで今日である必要は全然ないんですけど、どこかでやはりここで言っていて、どういう政策があるかってことを議論する機会を作っていた方がいいかなと思います。

(前田会長)

他にご意見はありますか。

ご意見等もないようですので、報告事項については、これで終了します。

- 2 議事〔協議事項〕(1) 令和5年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について (2) 第2次清須市地域公共交通計画の策定について (3) 地域公共交通計画に係る取組状況の評価(案)について (4) 令和7年度地域公共交通計画別紙(案)について (5) コミュニティバスのバス停の名称変更(案)について

(前田会長)

引き続き、「協議事項」に関する議事に移ります。

まずは次第の順に(1)「令和5年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(市江主任)

【資料4を説明】

(前田会長)

ただいま事務局から当公共交通会議の歳入歳出の決算の報告がございました。

なお、本日は欠席ではありますが、先ほど事務局から申しあげましたように、監事の山田委員さんから、このようにご承認をいただいておりますので、よろしく願いいたします。

この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

ご質問も無いようですので、本件に関しまして、ご承認いただくということによろしいでしょうか。

[異議なしの声]

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題(1)を終わります。

(前田会長)

続きまして、協議事項(2)「第2次清須市地域公共交通計画の策定について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(市江主任)

【資料5を説明】

(前田会長)

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

(豊田委員)

JR東海の豊田です。

6ページの目標の満足度になりますけども、実は清須市の駐車対策協議会の委員もやっております、この駐車放置禁止区域とですね、いろいろ駅前の環境の面で、本当に実施していただいて感謝でございます。

こちらもいろいろ取り組みをされてるということがありますが、この自転車駐車対策協議会と連携してされてるっていう理解でよろしいですか。

(林次長兼課長)

企画政策課長の林です。

今の協議会の方に関しては、総務課が交通安全対策ということで実施しております。そういった直接協議会の方での連携という形ではないんですけども、その部分は総務課と情報連携して、今の実施状況であったりとか、そういったものは把握しているというような状況でございます。

(多田委員)

タクシー協会の多田でございます。

先ほどちょっとご説明をいただきました第3章の8ページでございます。

私どもタクシーの事業者団体でございますので、タクシーのことについて若干申し上げさせていただきたいと思っております。

まず評価の2つ目ですが、名古屋交通圏では200台不足してますとありますが、これ根拠は一体何でしょうか。

私どもはこういうデータを出したことはございません。

これは恐らくは、国土交通省のデータを活用してる話だろうと思えます。またそのデータもですね、その課題のところに書いてあります2つ目ですね、自家用車活用事業など、おそらくこれに関するデータかなということは、若干思うところですが、まずもってですね、自家用車活用事業を皆さん方はどんなことかご存じですかね。おそらくは知らないと思えます。

日本型のライドシェアと申しまして、一般の方がマイカーでもってタクシー事業者の管理のもとに、マイカーでお客さんをお運びするサービスが、実際にもう名古屋で始まっております。

とは言ってもですね、清須市さんのような中心部から若干離れた地域では、そのような取り組みは営業的にも成り立たないということもあって、なかなか導入がされていかない、やる方もいないということが今の実態でございます。

それで言いたいことはですね、ここに自家用車活用事業など云々という言葉があるんですけども、そういったことをきちっと皆様方に理解をしていただいて、今のタクシーの課題は一体なんであるのかということが一番大事な話でありまして、この評価の一番上に若干書いてございますけれども、タクシーに関する主なニーズ改善って云々ということで、台数の増加、営業時間の延長などが求められている。このような記載がされてるわけでございますけれども、すぐさま改善をしたいというのは本音でございますけれども、ドライバー不足等々もあってですね、なかなか改善ができません。

名古屋の事業者は一生懸命新しいドライバーの採用ということで、今取り組んでいてですね、少しずつ増えている。しかも若い方が増えている。これは今の実態です。

そういったことを、私どもとしても、どうやって地域の皆様方にお知らせをしていったらいいのか、これは非常に課題になってる部分ではご

ざいます。

そういったことも含めて、タクシーの課題というものをきっちりしっかりと把握していただくためには、これからは事務局の皆様方へのお願い、さらには委員の皆様方へのお願いになるわけですがけれども、地域のタクシー事業者2社しかございません。いずれも中小の事業者ですので、大手の事業者のように、いろんな取り組みというものはなかなかできないとは思いますが、やはり頼りになるのは地域の事業者ではないでしょうか。

そこで一番課題になっているのは、平日午前中の配車がなかなか思うようにいかない、電話してもなかなか来てもらえない。これが一番の課題ではないでしょうか。

それを解決するためにはいろんな方法がございます。配車アプリで呼べば、複数の会社の近くの車が表示されます。

例えば、つばめタクシーに電話をする。いやちょっと待ってください。30分かかります。それじゃあ次、名鉄交通に電話する。いや、おんなじように断られちゃう。こういうことがずっと繰り返されてくるはずだと思います。それが今の現状かなという気がしておりますけれども、配車アプリでやれば、その近くのタクシーが全部表示されます。

どれを選ぶかは皆様方のご自由です。一番早く来るやつを選ぶのか、いや、A社のチケットを使うからA社がいいとか、キャッシュレス決済もできますし、現金決済もできます。若干使い方には慣れていただく必要がありますが、そういったことを広めていくというのが、私どもタクシーの課題でございますので、その辺は皆様方と認識を同じようにしたいなと考えているところでございます。

自家用車活用事業等を言っておりますけれども、こういったものかだとか、もう1つ自家用有償運送、これは、一番最初のページにしっかりとそういうことは表現として出てくるわけですがけれども、そういったことをやはり皆様方にきちっと理解をしていただいた上で、あしがるバスの補完として何が本当に有効な方法なのか、これを考えていただくことがやっぱり大事なかなと思っておりますので、ぜひそういったこともご検討いただければと思います。以上です。

(加藤副会長)

名古屋大学の加藤です。

タクシーの件は私もちょっと言おうとしていましたけど、フォローアップの方の、計画の取り組み結果で「タクシーに関する情報発信」の項がありますけど、一体何をやってたのかちょっと確認したいと思えます。ちょっと詳細も書いてなかったの。

今の話っていうのは自家用車活用事業は4月から出来たもので、しかも、去年の今頃はまだ影も形もなかったということなんで、これは多分わかってなくてもやむを得ないと思えますけれど、そもそも配車アプリの話とかっていうのは、もっと前からありますので、それを活用することで、電話で呼ぶとか駅で待っても来ないとかそういうことに対して対応できるというのとは昔から本来わかってることなんですけど、それはタクシー協会さんがもっとやるべきだったのか、市の方でやっていな

かったのかわかりませんが、ここでの「タクシーに関する情報発信」はそれをやることじゃないのとなりますね。ここでは右を見ると、三角ってなっているんだけど、多分乗り方教室ができなかったとかそういうところから来てるんだと思うんですけど、タクシーに関する情報発信だけ取ったときに、これは丸なのかというと、あんまり丸じゃないような気がするんですが、ちょっとそこについての見解を知りたいなと思います。

(市江主任)

タクシーに関する情報発信の取り組みなんですけれども、現在の取り組みといたしましては、コロナ禍のときにタクシー協会の方から情報提供いただいたコロナ対策の記事をホームページに載せている状況なんですけれども、ここ数年間はその記事を継続的に掲載することしか出来ていなかったものですから、今後、そういったタクシー会社やタクシー協会等の方から情報提供をいただいて、情報発信できることはないかと思ひまして、今回、課題のところ、今後、積極的な情報発信をしていきたいという思いで考えております。

(加藤副会長)

ただそこには各社の割引等の周知っていうだけしか書いてないのですが、実はそれ以外にやることがたくさんありそうだなってことだと思います。

(多田委員)

今加藤先生からいろいろご指摘をいただいたわけですが、今私どもタクシー協会のホームページです、各社のいわゆる運賃の割引状況をすべて一覧表にして網羅してホームページで発信をしております。

それからどういう車は何台かとか事業所がどこにあるかとか、こういう情報も発信をさせていただいております。

ただ難しいのはですね、個々の会社のいわゆる営業状況等々は、これなかなか発信はできません。

そういう部分もあってですね、全体をまとめたものなら今そういうものを、ホームページに上げていこうと準備をしている段階でございます。

一度名古屋タクシー協会ホームページをご覧ください、地域の交通に関する自治体さんの施策に関するところですね、いろんな情報載せていこうと、今準備の段階でございます、自治体の方にも、うちの自治体はこんなことやってますよとか、福祉タクシーの割引チケットやってますよというのを、名古屋交通圏を全部一覧にして皆さんに見ていただいて、それぞれの自治体さんでやりになっていることを比較するようなことも工夫をしております。

まだここはデータが完全にそろっておりませんので、一部歯抜けになっておりますけれども、そういった取組をさせていただいております。

先ほど申し上げましたが、やはりその地域の事業者さんの情報という

のが一番大事だというふうに感じておりますので、そこは地域の事業者が何ができるかっていうのは、それぞれの事業者の取り組みにも関わってくる部分でございますけれども、ぜひそういったものをですね、事務局の方と一緒に、タクシ-の情報発信という部分をですね、今後、充実していきたいと考えておりますので、一度タクシ-協会のホームページをご覧ください。よろしくお願ひいたします。

なかなかタクシ-協会のホームページ皆さん皆見られないんですよ。これは事務局の方にお願ひですが、市のホームページのどこかにリンク張りをしていたただけると、非常にありがたいのかなというふうに考えております。

(加藤副会長)

この清須の場合は、名古屋交通圏という大きな括りで、タクシ-の営業権が設定されているんで、今のこの200台だったらその全体の話なんですよね。

そうすると昔から言われてる、例えば夜だと、錦三丁目とかそういうところにはいても、新清洲のところにはいるのかとかね。新清洲よりも大里の方がいるとかね。これは新清洲と大里は交通圏が違うから、新清洲は名古屋交通圏の話で、大里は一宮稲沢の交通圏の一番名古屋寄りだからという、そういう仕切りのわけですよ。

でもそんなことは清須市としてはそうじゃなくて、ちゃんと清須市内の駅にいて欲しいですよ。

そのときに一体何をしなきゃいけないかっていうと、この会議で、そういう現状を明らかにして、ここは夜本当に在るべきなのにいませんとか、そういうことを、これはタクシ-さんから言っていたくのが本来いいんですけど、タクシ-も何社もあるもんだから、1つの会社だけで、うちはなかなか回せないとかそういう話もあるんですけど、実態として名古屋に通ってる人が一番帰ってきて、そういう状況だとわかるかもしれません。そういうのをきちんと調べる。

あと、平日午前ってのは、通院とか多いので、やはりひっ迫していると言うのも、その通りなんですよね。

ただ実態を調べたときに、特にどういう状況かということがわかると。

それを今のタクシ-でやろうとすると、何とかこちらに来てもらうとかアプリとかで呼べるので、そういうことを周知して皆さんに賢く使っていただくことをやるのか、それでも足りないんだったら、多田さんおっしゃった、自家用車活用事業は、多分容易じゃないのかな。結局タクシ-に普通に名古屋交通圏のタクシ-が混ざっちゃうだけなんで、結局栄とか行っちゃうみたいになっちゃうかもしれません。

そうじゃなくて、もう1個、いわゆる以前だったら過疎地とかでやっていた自家用有償運送が、例えば夜間だけ。

新清洲で待ってるタクシ-が一部自家用車になるとか、そういうことは、今有名なやつだと三浦っていう、神奈川県ですね、三浦半島のときに三浦の三崎口駅ってところで、そういう実験やったんですが、あそこもやっぱり電車の終点ですけど、町まで遠い三崎口っていう駅で、タク

シー会社2社あって1社は22時までしか営業してなくて、もう1社は三、四台しかない。だけど、品川から快速特急で15分に1本くらい着くと。そうすると全然いないんで、歩く人がいると、そういう状態となるんです。

なので、それだったら、市内の方で、運転できる人が出てきて、タクシーアプリで呼ぶのか、別のもので呼ぶのかいろいろ考えられるんですけど、そういうのは昔からできたんですけど。できてもなかなか以前だったら、タクシー業界さんは、そんなのはやらせないだったんですけど、今はやらせないじゃなくて足りないんだったら、やっていかなきゃいけないっていうふうに多田さんはそういうふうに言っただけだと思いますので、もちろん事業者さんの車に乗っていただくのが最初なんですけど保管するっていうことなんで、そういうことも可能になると考えたら、本当に清須市内の駅とかで、タクシーが本当にもうアプリだろうがなんだろうが全く捕まらないということであつたら、そういうことを入れるということも考えなきゃいけないと思います。

これ現実に一宮の会議だとそういう議論をしてるんですよ。一宮だと平日の昼とかで読むのが難しいことがあるということになって議論してます。だからそういうことを、今後考えていくことも必要かなと思います。今まであんまり考えてなくて、やってくれないかなとかそれだけだったんですけど、そこはこの1年ぐらいで大きく変わったところなんで、ぜひ今の交通計画を議論する中で、そういうこともあるんだっていうのをやっていただけるといいなと思います。

あとタクシー協会さんには、ちゃんとタクシー協議会やってそういうことを周知して欲しいな。タクシー協議会が一番そこができる場所なんで、各地域公共交通会議で言うのもいいんですけど、地域公共交通会議ないところもありますので、全体として周知していただくのがいいのかなと思います。以上です。

(多田委員)

ちなみに新川タクシーさんは、配車アプリ3つの会社で導入してますので、一番皆さんがご存じなテレビでコマーシャルだけどGOするってやつね。そういうこともやっております。上手に賢く使っていただきたいと思います。

(前田会長)

今、各委員さん方から言われた趣旨等についても、また今回の交通計画の策定について、その辺のところを踏まえて、また考えていくということで、今回このように提示された案については、この協議会では、ご了解をいただくということにしていきたいと思いますが、今発言されました委員さんよろしいでしょうかね。

(加藤副会長)

ちょっと全く別のことで関連する話題なんですけど、どこかにあしがるバスが、市の公共交通の核って書いてありましたが、核ってどういう意味なのかなと思って、普通はあんまり核って言わないで軸だとか幹と

か、そういう言い方だと思います。あんまり核とは言わないなと思います。

そのことと、利用者数とか、市民がどれだけ利用してるって考えたら、やっぱり核とか幹は鉄道ですよ。

とはいえ、あしがるバスは何が大事かっていうと、もともと清須の大きな課題は、4町が合併したところなんだけど、旧4町の間とか、市内の移動が極めて実は貧弱でありましたと、ていうことなんで、市内移動をもっとできるようにしようということでやりましたよね。

そのこの総括は大事で、位置付けも市内を移動する公共交通の核だとか、幹だとかっていう言い方をされた方がいいかなと思いました。

そうすると、今のタクシーは、そういう核や幹を補完するものにもなりますよね。これも市内移動が多いです。あと、名鉄さんだと、市内に駅が何個もあるんで、市内移動に名鉄線を使ってる可能性はあるのかなと。あるのかも、ないのかもしれないんで、ちょっとそれは名鉄さんからデータを出して欲しいんですけど、市内駅間の相互利用がどのぐらいだとか。あまりないかもしれないけど、多分あしがるバスも時間かかるんで、どうしてもこの市内は、信号があったりとか道が狭かったりして時間がかかるので、場所によっては運賃もちょっと高くなるけど、鉄道で移動した方が便利であるところもあるんだと思いますので、その駅間利用もちゃんと見ていただいて、あと、タクシーは台数は出せますかね。もう難しいですか。2社に聞くしかない。他のところだとタクシーの台数を出してもらってるところもあります。

市内発や市内着のタクシーが何台あるかっていうのも、ざっとね。例えば東浦町だったら、各社に全部出してもらって目標設定をしていると。

ただそういうデータも、名古屋だと交通圏が全部同じなんで、清須だけっていうと、2社にお願いするかという話になっちゃうんですけど、何か台数がないと、成果もわかんないんですよ。だからちょっとそういうデータも、今ここで言ってるのは事業者さんに出してっていう意味なんで、ぜひそういうデータを出して、特に市内移動で、何とかあしがるバスはもちろん、もっと充実させると書いてあるんですが、今使えるものを使っていくというの必要かと思います。

一応、清洲駅は、稲沢市ですけど、清洲駅っていうのはどうなってますか。清須市民の利用と稲沢市民の利用はどれくらいの割合ですか。そういうことも、あんまりわかんないでしょ実は。

なんかそれもあそこで調査をかけて、多分清須市民が多いんじゃないですか。どうでしょう。ていうのも、この際ちょっと調べられたらいいなと思うんですけどね。そうすると、実はJRであっても、枇杷島ー清洲っていう利用があるんだったらこれ市内移動ですよ、これ大事な移動でしょ。そういうものもちょっと出てくるといいなと思った次第です。

以上です。

(前田会長)

ありがとうございました。

この協議に関しまして、先ほど言いましたように、いろいろな課題を踏まえ、交通計画の策定をしていくということで、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題（２）を終わります。

（前田会長）

続きまして、協議事項（３）「地域公共交通計画に係る取組状況の評価（案）」について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

（市江主任）

【資料６を説明】

（前田会長）

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

（加藤副会長）

これは何でこういう順番になったんですか。フォローアップは５年間のまとめですよ。今のは昨年度でしょ。昨年度があって、そうすると５年間の評価ができるかと思うんですけど、何でこれが後、或いはこの資料６－１、６－２とフォローアップのところの違いってのはどういう違いですか。同じではないはずですよ。

なぜかという５年間やったことの評価と、昨年度やったこと、同じじゃないですか。こうやって次に出されると何が違うのかなって知りたくなるし、ぱっと見で表現の仕方が違うので、計画通り実施とか、達成度評価とか、何か違いありますか。

（市江主任）

フォローアップにつきましては、今ありましたように計画期間の達成状況の評価するためのものになっておりまして、こちらの資料６－１、６－２につきましては、昨年度実施した内容のみ焦点を当てたものになっております。

（加藤副会長）

いいんですけど、多分５年度の評価は４年度で出来ていないところができるようになったとしたら、非常に意味があるというか、そういうものかなと。

５年間だったら５年間で出来たか出来なかったかが問題なんだけど、令和４年度でここまで出来たけどこれが出来なかったのが令和５年度

は特にここやって、施策もやって、結果的に令和5年度はそこはうまくいったっていうふうに、令和4年度でどこまで出来ていたかっというに対して差分としてこう上がったとか、そういうところが大事だからそういうところを書かないといけないんですよ。

それとももともとしっかりできるんで、5年度も継続して淡々となのか粛々となのか、張り切ったのかわからないですけどやったっていうことだったらそれでいいんですけど、これ見ると、大体やってきたことを5年度もやったっていうふうに見たらいいのかなあとも思えるんですけど、ちょっとそういうふうを読むと、間違ってるかもしれないので確認したということです。

(市江主任)

今、ご意見いただきました通り、令和5年度も前年度の取組を継続的にやった事業がほとんどでして、新しく5年度に行ったものは、今年度の計画策定に向けたアンケートを実施してニーズを把握したというところですよ。

(加藤副会長)

多分次の計画策定するときは、令和7から11年度の計画なので、7年度何をやる、8年度何をやる、これも毎年やることが多いんですけど、どっかで路線の見直しだったりとか、何かイベントありますよね。イベントっていうのはお祭りとかじゃなくて、何かを変えるとか、何かを増やすとか、そういったことがあるときに、多分、この評価っていうのは、それに合わせて、新しいことをやったので、この評価が変わるっていうのが大きなところなんで、スケジュールと連動するかなと思います。

昨年度、一昨年度はあまりそこで新しいことがなかったのであつたら、こういう感じでいいと思うんですけど、ちょっと前の路線の変更はいつでしたっけ。

令和4年度にやっているんで、昨年この評価する際に、もうそこで入れたんで、そのあとあまり新しいところはなく、一昨年やってたことを、昨年もやって大体うまくいったというそういう評価でいいということですね。

あと、聞きたいんですけど、ちょっと2点あるんですけど、福祉有償運送制度の継続実施ですが、これは毎回聞いてるかもしれないんですけど、何事業者って、何台とかがっというのは、ここで扱う案件でもないから、わからないんですけど、とはいえ計画としては書いてあるんで、何件あってどうだかっというのは、どっかにこう、資料がないと、適切かどうかもわかんないということなんで、分かれば教えていただければいいかなっていうのあります。

あともう1個、バスロケーションシステムは、これもやってるっていうことなんですけど、例えばどのくらいアクセスがあるとか、なんかそれぞれうちちょっとアウトカムな評価がないかなと思います。

他のとこだつたらやっぱり電話かかってくるのが少なくなったとかね。以前だつたらバス来ないけどどうなってんのっていうのが多くあつたけど、このシステム入れたら、大きくそういう問い合わせが減つたと

か、そういうような効果はあったかどうかというのはどういうふうになっているのかなどかっているのは、特にこれ5年間の評価もあるかもしれませんが教えていただければと思います。

(市江主任)

まず、福祉有償運送の団体とか台数についてなんですけれども、資料5のほうに戻ってしまうのですが、参考として添付させていただいた本市の概要と書かれた23ページのところに、現在市内で福祉有償運送をしていただいている2つの団体を記載しております。実績等も、表の下のところに記載の通りとなっております。

ただ、現在の計画の策定時には3団体あったところ、昨年度1団体減りまして、現在では2団体となっております。

あとバスロケーションシステムについてなんですけれども、こちらも正確な数字はちょっと把握できてないんですけれども、導入当初の1年間ですけれども、アプリケーションへのアクセス数といたしましては10万以上あったところが、令和2年度3年度、コロナ禍で少なくなり、大体6万とか7万ぐらいに落ち込んだ時期もあったんですけど、今はまた10万近くまで1年間でアクセスしていただいている状況です。

(加藤副会長)

更新も入っているんですか。

(市江主任)

はい。更新も含まれ、ページが変わるだけで1カウントされます。

(加藤副会長)

福祉有償運送については、23ページですけど、やはり5年の間に1事業者なくなったのは、書いといて欲しいなと思います。それがいいことなのか、悪いことなのかって言ったら、あまりよくないことなのかもしれません。

ちょっとそこまでは立ち入らないですけど、その事実は書いておいたほうが良いと思います。

あと、しゃべり過ぎなんですけどここで言っとかないと、議事録に残らないとまずいので、ちょっともう1個だけありまして、この評価だと、区画整理がどうかそうなっていますけど、駅前整備っていうのが書いてありましたが、今回鉄道事業者さんが入ったので、駅前だけじゃなくて駅中まで考えて欲しいなと思います。というのもやっぱり清須市の駅って貧弱だと思うんですよ。駅前にしても駅中にしても、ちょっと座るところが非常に少ないとか、冷暖房がきちんとあって、冬も寒くないとか夏も暑くないとかってというのが、枇杷島駅だって全然そうじゃないでしょ。だから例えばそういうのってどうかないかっていうのはもちろん事業者さんとも話をして、もうちょっと溜まれるっていうか、きっと枇杷島駅もあれだけの空間だけど、人が溜まるとかそういう感じではないですよ。何かそういう仕組みって何かできないのかなど。

僕なんかだと、アオキスーパー行ってしまいうんだけど、アオキスー

パーも今ね、以前はフードコートっていうかなんかあったんだけどそういうところが、今ないでしょ。そうすると溜まれないっていうか、もう外で立ってるしかないっていうか、何か縁石に座ってるしかないみたいな。

ほとんど高校生と同じことなんですよ。

それは決して少なくない利用者数なのにもったいないし、むしろ駅にたくさん集まってきてくれて、それでバスに乗ってくれるっていうことにしないといけないから、これはもうここだけでできることじゃなくて、市全体の施策なんですけど、その駅前と駅の中も含めて、この人がきちんと溜まったり、来たくなったりするっていうのを、交通の面からどうやってやったらいいかとか、施設の面からどうやったらいいかっていうのをやってくのは、交通事業者さんが入られたこともあって、大事かなというのをちょっと思ってるんですけど、これ市民の皆さんが言うなら分かるんですけども、僕が言ってるのは違和感ありますよね。

(鬼頭委員)

鬼頭です。

加藤先生のおっしゃったことは全く同感で、まだこちらへ来てびっくりしたのは、駅に冷暖房が入ってないっていう現実。どうなってるんだろうね。それからもう1つは駅の近くに、加藤先生おっしゃったように、溜まる場所がないんですね。溜まる場所がないってことはそのような都市計画を作ってこなかった、清須市の怠慢だと思うんですね。

例えばコンビニすらないんですよ。普通、駅の前というところ、コンビニもあってスーパーがあって本屋があって、市或いは区の出張所があって、だからそういうのは当たり前で生活してきた者としては、どうなってるんだろうっていうことなんです。人口が違うからっていうのはあるけど不便でしかないんですけどね。

さっき先生から「エキナカ」っていう話があったんだけど、僕は所謂「エキナカ」だけではむしろ駄目だと思うんですけど、「エキナカ」っていうのは、改札内の売店ということですから、ご存じのように、大宮とか、品川とかああいうところにある所謂「エキナカ」っていうのは、改札の内側です。欲しいのは、改札の外側。駅の隣接した駅ビルのような、そういうものが本当は欲しいということ、利用者としてあるので、鉄道事業者の方はぜひ考えて欲しいのと、もう1つ余計なこと言うと、城北線。

あれ、当初の計画のようにね、山手線みたいな外環線になるはずだったはずなんですよね。ぜひ、ぐるっと周る線にして欲しいです。あれだけ立派な施設持って、高規格の鉄道線持っているのに、単線で走ってるし、1時間に1本しかないと、非常にもったいないので、ぜひ、ぐるっと周遊して内回り外回りで走らせてもらいたいと思います。

まだちょっと鉄道会社に対していろいろ言いたかったんだけど、これだけにしております。以上です。

(柴田委員)

委員の柴田と申します。よろしく申し上げます。

先ほどアオキスーパーの溜まるところがなくなったっていうふうにして、この前、どちらから聞いたか覚えがないんですけど、あそこに椅子があって、長くたむろってらっしゃる方が多かったんで、アオキスーパーはそれをなくして、長時間いられると困るということで、無くしたんだよと聞きまして、なかなかスーパー側も大変だったんだろうと思います。あと、私も城北線の沿線に住んでおりました、引っ越したときは、環状線のようになるんだよっていう話でしたが、引っ越したのちに、「あらっ」ということになりまして、とても残念に思っています。たまに利用するんですけど、すごく気持ちよい線なので、繋げていただきたいと思います。なかなか用地賠償が大変かとは思いますが、繋いでいただけたら嬉しいです。

(前田会長)

他によろしいでしょうか。

他にご質問もないようなので、ここでお諮りします。

本件に関しまして、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題（3）を終わります。

(前田会長)

続きまして、協議事項（4）「令和7年度地域公共交通計画別紙（案）について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(市江主任)

**【資料7を説明】**

(前田会長)

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

(加藤副会長)

資料7-2別紙の3ページですが、平成30年から書いてありますけど、この計画の期間だけでいいんじゃないかなと思います。昔のことを書いてもしょうがないんで。

そのことと、6、7ページのところで会議も令和2年からずっと全部書いてあるんですけど、基本的には、この1年か2年ぐらいのところでもいいんじゃないかと思います。ただ計画策定で、令和2年にこの計画が策定されたっていうところは大事。

それから後、路線変更とかダイヤ変更のところは大事なんで、そこをピックアップして書かれればいいんじゃないかと。ここ1年は、まさに何やって、どうなったかっていうPDCAのところを書くところ。こんなに

全部書くと、読む気になれない。これは国に出すものですが、国の担当の皆さんもこんな次々見せられて、中身が見えないので、前の方のところは、今回の結果に関わる大事なところだけピックアップするといいいんじゃないかと思います。

基本的には、コピペのところが多いので、多分大丈夫だと思いますけど、そういった形で、なるべくコンパクトで見ただけのようなふう  
に工夫されたらいいかなと思います。

それは事務局に、当然一任になると思いますので、ご審議いただければと思います。以上です。

(前田会長)

委員さんよろしいでしょうかね。

他にご質問もないようですので、ここでお諮りいたします。

本件に関しましてご承認いただくということでよろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題（４）を終わります。

(前田会長)

続きまして、協議事項（５）「コミュニティバスのバス停の名称変更（案）」について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(市江主任)

【資料８を説明】

(前田会長)

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

(加藤副会長)

ここのセンターがどういうものなのかを教えてもらえたらいいと思います。

今検索してみたので、こういうことかと分かりましたけど。

それを教えて欲しいのと、あと、清洲保健センターがなくなったっていうのは、なくなって一体どこへ行くのかとなると新しい移動が発生する可能性ありますよね。ていうのはこのバスで保障されるのかどうか、そこも知りたいと思います。

(林次長兼課長)

企画政策課の林です。

五条川防災センターにつきましては、集会所機能と避難所機能を持つ施設として建設されました。現在新川の方に「ふれあい防災センター」

があるんですけども、さらに新しくということで、そういった機能を持った施設を新たに作って7月から供用開始をするということです。

清洲保健センターにつきましては、建物自体が老朽化してるということもありまして、現在保健機関につきましては清洲総合福祉センターの方で実施しております。

最終的には保健センターに関しては、どのような形で運営していくかっていうのは検討中ではありますので、今現在は、清洲総合福祉センターで実施しているということでございます。以上です。

(前田委員)

他によろしいでしょうか。

それでは、他にご質問も無いようですので、ここでお諮りします。

本件に関しまして、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題(5)を終わります。

### 3 その他

(前田会長)

以上で、本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。

慎重にご審議いただきありがとうございます。

ここからは、次第の「3 その他」に移ります。

事務局から報告事項はありますか。

(市江主任)

特に連絡事項はございません。

(前田会長)

最後に、この他のことで、委員の皆様から何かございますか。

(豊田委員)

JR東海の豊田です。

私の方から1点情報展開だけさせていただきたいと思えます。

先日、プレス発表させていただきましたが東海道新幹線が開業60周年というところでもあります。1964年、昭和39年というところで東京オリンピックが開催された年に新幹線が開通しましたが、それからちょうど60年、本当にこの60年間ですね、もう皆様方に支えられて、何とか走り続けてきたというところでもあります。

その中で、地元沿線の皆様にですね、いろいろこれまでご支援いただいたということで、様々なイベントを予定しております。ちょっと簡単に紹介したいと思えます。

まず1つ目でありまして、沿線自治体の市章入り新幹線を走らせるということでもあります。こちらは、東海道新幹線の東京―新大阪間で全部で84の都府県と市町村がありまして、84すべての市章を貼った専用新幹線を運行するというところで考えております。これは、10月1日以降というところでありまして、約3、4ヶ月その新幹線を運行するというところでもあります。

ちなみにですね、どこに貼るかということ、1号車と8号車と16号車の左右です。問題は、車両運行が1日1日変わるので、この日のこの時間に走るとするのは難しいんですが、なんとか時間とか分かれれば、事前に各市役所に紹介したいと思っております。

もう1つでありまして、当社のホームページのポータルサイトが5月29日にオープンしまして、そちらに沿線市町村の魅力を発信しようというところでもあります。ちなみに清須市さんも、内容を見てみますと、「庄内川・新川・五条川の3つの川が流れておりまして、豊かな水辺空間を持つ自然と調和した都市です。」というところで紹介しており、いろいろ写真を見ると、西枇杷島まつりや清洲城、あと五条川の桜を紹介しておりますので、ぜひとも、見ていただければと思っております。

またおそらくもう少ししたら、いろんなイベントが開催されますので、その都度紹介したいと思っております。私からは以上です。

(前田会長)

ありがとうございます。

では、以後の進行は、事務局へとお返ししたいと思います。

よろしく申し上げます。

#### 4 閉会

(神野課長補佐兼係長)

長時間にわたり、お疲れ様でした。

それでは、これを持ちまして、令和6年度第1回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。

本日はお忙しいところご出席いただき、ありがとうございました。

問い合わせ先

企画部 企画政策課

052-400-2911 内線3214

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前田 繁一

署名委員 加藤 榮子

署名委員 鬼頭 恒雄